



市民創世会
木村 愛子 議員

森林整備について

問 地区により森林面積も違うが、森林が暮らしに及ぼす影響をどう見ているか。

答 市の森林面積は約3,130ヘクタールで、市全体の37%を占めており、多岐にわたる公益的機能は、安心して快適な生活を送るために欠かせない環境保全機能を有している。

問 クマ・鳥獣害対策の緩衝帯整備は森林整備と一体のものだと思うが。

答 生態系の中で野生鳥獣と共生できる森づくりを目指すことが重要と認識している。森林整備で対応できる部分は限られてはくるが、山際における間伐等の実施や作業道

を開設することで、森林と集落間の緩衝帯となり、鳥獣害対策の効果が期待できる。

問 森林環境譲与税で、森林環境整備をどのように進めるのか。

答 森林経営管理制度を活用し、森林整備や人材育成、担い手確保等に関連した施策を推進する。また、譲与税を活用し、地域の実情に応じた補助事業についても、他市の状況を踏まえながら今後検討していく。

要望 鳥獣との共生と、安心して住める暮らし、ともに大事だが、市民の不安を払拭することを第一に考えてもらえるよう要望した。



市政同志会
江端 一高 議員

コロナ禍の移住促進策

答 短期公募インターンものづくりステイ、移住マッチングサイトSMOUTの活用など新たな手法で移住促進策に取り組んでいきたい。

文化芸術ゾーンの創出

答 教育長 新幹線開業に向けて近松門左衛門の立待地区、歩兵第36連隊で栄えた神明地区、また古墳群や体験型観光につながるものなど1つのテーマで一定のエリアを周遊するコース設定を図り、観光客の知的好奇心をかき立てる素材として有効に活用、周知、広報していきたい。

中高年のひきこもり支援

答 実態把握が難しいことを踏まえ、相談しやすい体制、どの部署に相談しても連携して対応できる体制を整え、必要な支援につなげていくよう国、県、関係機関と連携を強化して取り組みたい。

就職氷河期世代への支援

答 鯖江市・福井労働局雇用対策協定を締結した。福井労働局と連携を密にして必要な支援が届く体制を目指していきたい。



公明党
奥村 義則 議員

SDGs(※)推進について

問 鯖江市が積極的推進しているSDGs・No5:ジェンダー平等、女性活躍推進ならびにチャウドリー国連大使と鯖江市の今後の関係等、新市長への引継ぎは。

答 市長 No5ジェンダーフリーが17の目標の相乗効果と好循環を生むということで女性が活躍しやすい鯖江の土壤に着目し、No5の積極的推進の経緯がある。国連のチャウドリー大使は女性問題の第一人者で、今回、鯖江市SDGs推進の名誉顧問に就任していただけるということで、今後も御助言をいただけたらと思う。気候変動による大災害の頻発化、猛暑、新型コロナパンデ

ミック等、地球規模的な課題にも積極的に取り組み、鯖江市の持続可能なまちづくりについて次期市長に引き継いで取り組んでいただきたいと思います。



SDGsジェンダーフリーのアイコン

※ SDGs…2015年に国連で合意された、持続可能な世界の実現のために達成すべき17のゴールを表したものの。

その他の質問

- 今年の成人式について
- コロナ禍における避難所運営
- 地域未来構想オープンラボについて